9月8日(月) 13:30~15:30 会員限定

あなたの最高色を見つけませんか

皆さま、お洒落って興味ありますか？肩ひじ張ってお洒落するよりも自分らしくいれればいい！と思っていませんか。コロナが来襲し、お洒落も出来ない日常が続き、そこへ物価高が直撃、お洒落なんかお呼びでない！でも、それはそれでちょっと淋しい。もう一度自分を見つめなおし、自分らしく楽しみたいですよね。それも人様の真似をするのではなく自分だけのお洒落。カラーコーデで美弥子先生のアドバイスを受けて本当の自分を見つけてみませんか。

参加費 会員 3,000円（診断料含む） 募集定員 6名（会員限定）
講師 ツムシュテック 美弥子 色彩講師・パーソナルカラーアナリスト

9月12日(金) 13:30~15:00 企画講座

「慶安二年内宮・外宮図」を紐解く

今回は阿形さんから提供頂いた「慶安二年内宮・外宮図」の写しを皆さんにご覧いただき、そこに描かれる場面をじっくりと解説したいと思います。
作者は出口延佳と共に豊宮崎文庫の創設に貢献した與村弘正です。
京都大学名誉教授・金坂清則氏との共同調査によって、実に興味深い歴史の事実が判明しました。この絵図は、紀州藩主徳川頼宣の命を承った弘正が慶安2年（1649）8月に書写したもので、9月25日と27日に斎行される第44回式年遷宮を意識したものです。知られざる神都の歴史を垣間見ることのできる貴重な絵図ですので、楽しみに聴講してください。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 音羽 悟 神宮司庁 広報室次長／神宮参事

9月17日(水) 9:00~13:00 野外講座

地獄へようこそ ～鬼と亡者と閻魔の世界を鑑賞する～

往生要集画(部分) 伊賀市滝仙寺蔵

「うそをつくと地獄で鬼に舌を抜かれるよ！」子どもの頃にこんなことを言われたことはありませんか？この展覧会は、六道の中で最も恐ろしい場所である「地獄」について紹介。仏教の伝来とともに日本にもたらされた世界観は、やがて人々の中に根付き、文学や美術にも影響を与えました。鑑賞後は「風にふかれて」で直営農場から届く旬の野菜を使ったお惣菜を堪能しましょう。

参加費 会員 5,500円 ビジター 6,000円（観覧料・食事代・保険料含む）
講師 瀧川 和也 三重県総合博物館 学芸員 募集定員 15名
集合場所 三重県総合博物館 チケット売場前 集合時間 9時00分

9月22日(月) 13:30~15:00 企画講座

伊勢神宮 御厨・御園めぐり その6

御厨・御園は伊勢神宮の神饌や経営資源などを供給する土地のことで、中世には全国40ヶ国に計600ヶ所以上存在しました。
今回は現在の静岡県浜松市に存在した「遠江国蒲御厨」に関する北条時房下文などを読んで、鎌倉時代の伊勢神宮領と北条家領の関係などを読み解いてみたいと思います。
中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎！！

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 岡野 友彦 皇學館大学 文学部長

9月29日(月) 13:30~15:00 企画講座

近代の伊勢と新聞 ～吃驚新聞を中心に～

「吃驚新聞」(部分)（国立国会図書館デジタルコレクションより）

伊勢商工会議所の近くの通りに「びっくり世古」という名があることをご存じの方もおられるでしょう。これは明治～大正期に『吃驚新聞』という新聞を出していた新聞社が付近にあったことに由来します。『吃驚新聞』は現存する紙面がほとんどありませんが、当時の雑誌や同時代に生きた人々の作品などから、どのような新聞であったのかを知ることができます。なぜ今なお、通りの名として残っているのか…その背景に迫ります。

参加費 会員 1,100円 ビジター 1,600円
講師 太田 未帆 元伊勢市総務部総務課 市史編さん係 嘱託

10月2日(木) 13:30~15:00 企画講座

方言トライアングル

方言は、その地域特有のものもありますが、多くは他の地方と重なった分布をしています。方言地図を作ってみると、方言の分布は線を引いたようにくっきりと分かれるのではなくグラデーションのように分布が交じり合いながら語形が移り変わっています。
伊勢の言葉は、名古屋を中心とする中京圏と京都・大阪を中心とする関西圏の言葉を結ぶトライアングルの中にあります。
今回は、方言の分布ということを考えてみたいと思います。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 齋藤 平 皇學館大学 学長

10月5日(日) 9:30~12:00 野外講座

御塩殿祭と御塩固拝観

神宮は御饌や祭典用に用いる御塩を全て自前で作っています。7月末から御塩浜で海水を濃縮して、御塩焼所に運び、8月初めに大きな窯で煮詰めて荒塩を作ります。その荒塩を堅塩という固形物にします。その『焼き固め』の際のお祭りが御塩殿祭です。神社での式典後、御塩殿に移動して権禰宜が火鑽具で忌火をきりその清浄な火を竈に移し、三角錐の土器に詰めた荒塩を焼き固めます。5日～9日迄で300個作ります。御塩に関するお話を千種先生に聞きながら、今回はめったに見られない火鑽の様子を拝見しましょう。

参加費 会員 1,500円 ビジター 2,000円（保険料含む）
講師 千種 清美 文筆家／皇學館大学 非常勤講師
集合場所 御塩殿神社 集合時間 9時30分

10月7日(火) 13:30~15:00 企画講座

伊勢御師の家業経営 ～橋村大夫の家伝資料から～

江戸時代当時、全国人口の6人に1人がお伊勢参りに訪れていたとされています。「伊勢へ行きたい、伊勢路が見たい、せめて一生に一度でも」と伊勢音頭で唄われたように、伊勢の地は人々にとって憧れの場所だったのです。このような全国的な参宮ブームが巻き起こる中、「伊勢御師」たちは、大勢の参宮客を迎え入れるため、様々な工夫を凝らしていました。
そんな「伊勢御師」たちの家業経営の実態についてお話をお伺いします。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 小林 郁 皇學館大学 佐川記念神道博物館 学芸員／助教

10月10日(金) 13:30~15:00 企画講座

三足烏の社 ～京都市内に鎮座する熊野系の社を巡る～

京都市内には新熊野神社・熊野神社・熊野若王子神社という三つの熊野系の社が鎮座しています。大社の多い京都では少し影が薄いかもしれませんが、それぞれ魅力のある社です。境内には熊野の聖樹である梛の木が育っています。院政期の上皇たちが熊野に詣でるなど、都で熱狂的に熊野信仰が広がった名残と言ってもよいかもしれません。
三社の歴史と今を追いかけてみましょう。

参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円
講師 西山 克 京都教育大学 名誉教授

10月17日(金) 13:30~15:30 体験講座

身体の声を聴こう ～いい姿勢とは～

今回のテーマは〝姿勢〟についてです。正しい姿勢、悪い姿勢という言葉は我々が子どもの頃からよく聞く馴染みのある言葉だと思います。正しい姿勢とはどのような状態でしょうか。一人一人の体格の違いや、生活環境の違い、また住む地域によっての文化の違いなどもある中で、正しい姿勢、悪い姿勢の二極だけでは説明することはできないと思います。今回は〝あなたにとっての〟いい姿勢とは何かをお話や、レッスンの中で、身体で感じ、脳を刺激して〝姿勢〟について理解を深めてみましょう。
（※バスタオルを2枚お持ちください ※床に寝て行うレッスンを含みます）

参加費 会員 1,100円 ビジター 1,600円 募集定員 15名
講師 欠塚 優希 作業療法士／Bone for Life国際認定講師／NSCA-CPTパーソナルトレーナー

10月21日(火) 13:30~15:00 企画講座

伊勢の百年 ～式年遷宮とお木曳きの時期を迎えて～

私たちが伊勢神宮で感じる時間には3種類あるようです。
一つは「悠久の流れ」と言われる『不可逆の時間』。
二つ目は、神嘗祭など年中祭典や20年に一度の式年遷宮に見られる『繰り返しの時間』。
そしてもう一つが、太古と現代を行き来する『往還の時間』です。
今年は、昭和の始まりから数えて100年となりますが、昭和4年の「第58回遷宮」は過去と現在の遷宮を知るうえでも重要な時期であったようです。遷宮を通し伊勢の時間を改めて見つめてみませんか。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 櫻井 治男 皇學館大学 名誉教授

10月27日(月) 13:30~15:00 企画講座

伊勢商人（かどう） 長谷川家十一代当主・可同の多彩な文化の世界

松阪出身の木綿商・長谷川治郎兵衛家十一代当主・定矩（さだのり 1868-1925）は、雅号を可同と称し、家業の傍ら俳句・日本画・茶の湯などを嗜みました。俳句は大主耕雨（おおぬしこうう）に、日本画は磯部百鱗に学ぶなど、いずれも伊勢ゆかりの人物に師事しています。また、餅に関する品々を蒐集し、自邸に私設陳列館「餅舎（もちのや）」を建てました。可同の追求した多彩な文化の世界をご紹介していただきます。

参加費 会員 1,100円 ビジター 1,600円
講師 扇野 耕多 特定非営利活動法人 松阪歴史文化舎 学芸員

10月29日(水) 13:30~15:30 体験講座

重陽の節句とお煎茶

この日は旧暦の重陽の節句、菊の節句ともいい、昔から菊には寿命を延ばす力があると信じられ、菊酒を飲む、菊枕で眠る、菊の露で肌をぬぐって老を捨てるなどの風習が生まれました。今、菊は年がら年中あって仏壇の花になってしまいましたが、元々は中国から来た貴重な花で皇室の紋章にもなったほど。
藤原先生のお話を聞いてもう一度菊を見直してみませんか？
煎茶の方は、今回は自分達で焙じたお茶を煎れて飲む体験を致します。
お菓子は菊の節句にちなんだ五十鈴茶屋特製です。

参加費 会員 2,500円 ビジター 3,000円（茶菓代含む） 募集定員 15名
講師 藤原 和美 皇風煎茶禮式 師範 杉山 理 皇風煎茶禮式 準総師範

10月30日(木) 13:30~15:00 企画講座

歌麿と写楽 ～蔦重ゆかりの浮世絵師に迫る～

歌麿と写楽は世界的にも著名な江戸の浮世絵師。
歌麿は女性や子供を表情豊かに捉え、写楽は役者の姿をリアルに描いて話題となりました。その2人を見出しプロデュースしたのが版元、蔦屋重三郎です。蔦重の戦略には版元や浮世絵師を取り巻く江戸中期の世相が大きく関わっています。歌麿や写楽の浮世絵の魅力はどのように生み出され、展開したのか、その光芒を名品とともに辿ります。 注：大河ドラマのネタバレ有

参加費 会員 1,100円 ビジター 1,600円
講師 岡野 智子 細見美術館 上席研究員

11月4日(火) 11:00~13:30 特別講座

簡単薬膳であなたも健康に ～秋から冬の食養生～

薬膳は食養生です。季節、食する人の体調、食する人が住む地域に適する食材で調理した食事を取り、日々を健康に過ごすことが大切です。食事は薬と異なり、ひどい副作用はありません。体調がすぐれないときは、症状に合わせた食事をして未病（病気ではないが体の不調がある状態）を癒し病気まで悪化させないようにしましょう。また、11月は暦では冬。昨今、地球温暖化のため、季節の移り変わりが少しずつ変化していますので、講座では秋と冬の両季節にわたる食養生について、そしてさらに「高齢者の食生活」についてもお話を伺いましょう。

参加費 会員 3,500円 ビジター 4,000円（高木先生考案の薬膳料理代含む）
講師 髙木 久代 鈴鹿医療科学大学 副学長／日本薬膳学会 代表理事
集合場所 五十鈴塾 集合時間 11時00分 食事処 野あそび棚

11月10日(月) 18:30~20:30 体験講座

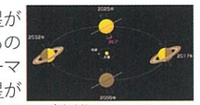
「菊水香」を楽しむ

菊は中国原産で、彼の地では菊の花をひたして香りをうつした酒を飲み、邪気を祓い長寿を願う風習がありました。日本へは平安時代に渡って、不老長寿の薬草として珍重されました。今回は菊と水にちなんだ「菊水香」。菊と水を組み合わせ、「陶淵明（とうえんめい）」、「彭祖（ほうそ）」、「谷川」、「山路の水」という組香です。陶淵明は4世紀～5世紀にかけての詩人、彭祖は中国伝説の仙人。両人ともに菊に縁は深いのです。神秘的な世界を香りで楽しみましょう。

参加費 会員 5,500円 ビジター 6,000円（香筵料・食事代・菓子代含む）
講師 東 堯霞 香道御家流三條西宗家 直門師範

11月11日(火) 18:30~20:30 体験講座

秋の星見と土星の魅力



11月の中頃、夏の星は西に傾き、東からは冬の星が見え始めています。その間に挟まれた南の空にあるのが秋の星たちですが、1等星は南のうお座のフォーマルハウトただ一つです。しかし今年はもう一つ土星が目立っています。今シーズンは、地球から土星の環をほぼ真横から見る15年に1度の位置関係になっていて、望遠鏡で見ても環がほとんど分かりません。この珍しい土星を観望し、映像を交えて土星の魅力をお伝えします。

参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円（五十鈴茶屋製の和菓子付）
講師 持田 大作 名古屋市科学館 課長補佐（天文学）

11月12日(水) 13:00~15:30 体験講座

初めての花結び ～クリスマスリース～

今回作る作品は角結び（丸四つだたみ）で作るクリスマスリースのオーナメント兼ブローチです。オーナメントを主体とする場合は大きめのサイズひとつ、ブローチを主体とする場合は小さいサイズを2個、どちらかを選んで作ります。この結び方は、比較的わかりやすく作り物が苦手な方でも挑戦しやすい結びです。一本の紐が作り上げる形の中に、日本文化の伝統美が息づいています。この機会にぜひ結びの世界を覗いてみませんか？
（※ピンセット・鋏・まち針・縫い針・縫い糸をお持ちください ※材料準備の都合により11/5に申し込みを締め切ります）

参加費 会員 2,900円 ビジター 3,400円（材料代含む）
講師 川本 美香子 花結び同好会 主宰／花結び作家 募集定員 15名

11月28日(金) 13:30~15:00 企画講座

御樋代木奉曳式とお木曳きへの期待

6月9日、10日に行われた御樋代木奉曳、清めの雨が降る中、内宮は五十鈴川を曳いて風日祈宮橋から五丈殿へ、外宮は度会橋から陸曳で北御門を経て五丈殿へ立派に納まりました。無事に斎行されましたが、長野県の上松から伊勢に来るまでの関係者の苦労や喜び、人々の御神木に寄せる思い、伊勢の人々の奉曳にかける情熱など内側に入らなければ分らないお話があります。内宮、外宮両方のこの行事にかかわった山中先生ならではのお話や、来年に迫ったお木曳の諸々の準備についてもお聞きしましょう。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円
講師 山中 一孝 豆腐庵山中 代表取締役

9月24日(水)・10月22日(水)・11月26日(水) 10:00~12:00 企画講座

楽しい俳句

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた和歌に始まり連歌、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずに5・7・5になっているといわれています。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。
石井先生がわかりやすくノウハウを教えてくださいます。

参加費（各回） 会員 1,700円 ビジター 2,200円
講師 石井 いさお 煌星俳句会 主宰